

安佐医師会サーベイランス週報 第41週 令和3年 10月 11日(月) ~ 令和3年 10月 17日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント
	定点医療機関数	4	5	2	2	4	5	2	1	26		
	対象人口	75,115	83,974	38,432	43,294	57,093	63,914	19,542	8,518	389,882		
	定点数当り人口	18,779	16,795	19,216	21,647	14,273	12,783	9,771	8,518			
1 RSウイルス感染症	5									5	↑	<p>【第41週安佐圏域での各種感染症の動向】 10/11~10/17</p> <p>1. RSウイルス感染症:0→5件...復活 2. 咽頭結膜熱:1→1件 3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:1→2件 ...長らくほとんどなし</p> <p>4. 感染性胃腸炎:39→47件 6. 手足口病:4→8件...増加 10. ヘルパンギーナ:3→6件...増加 14. 流行性角結膜炎:2→0件</p> <p>&lt;安佐地区、3大夏風邪感染症の推移&gt; 10/19</p> <p>・2つのコクサッキー感染症 再び増加</p> <p>&lt;安佐地区 感染性胃腸炎の推移&gt; 10/19</p> <p>・感染性胃腸炎 増加の予感!</p> <p>【コロナはなぜ急に減少したのか?】 ...識者の意見のまとめ</p> <p>①ワクチン効果:高齢者患者が減少、若者で流行り若者で終わる感染 ②夏休み、盆、連休など、人が移動したり集まる時期が過ぎた ③危機意識が高まり行動変異:感染しても入院できないなどの報道で ④ワクチン未接種者の夜間外出の70%減少(東京、8月下旬) ⑤季節的要因:野外活動しやすい季節になり、狭い空間でたむろすることが減った ⑥自然免疫 * 以上のような要因が重なったようである。因みにウイルスが弱毒化したという遺伝子上的変化は今の所ないとのこと</p>
2 咽頭結膜熱			1							1	→	
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1							2	↑	
4 感染性胃腸炎	24	7	1	1	1	12	1			47	↑	
5 水痘								1		1	↓	
6 手足口病	6	1	1							8	↑	
7 伝染性紅斑												
8 突発性発しん	3	1								4	↑	
9 百日せき												
10 ヘルパンギーナ	5					1				6	↑	
11 流行性耳下腺炎												
12-Aインフルエンザ(A型)												
12-Bインフルエンザ(B型)												
13 急性出血性結膜炎												
14 流行性角結膜炎												
15 麻疹												
16 風しん												
17 MCLS(川崎病)	1									1	↑	
18 髄膜炎(細菌性)												
19 髄膜炎(無菌性)												
20 マイコプラズマ肺炎												
21 クラミジア肺炎												
22 その他												
合計	44	10	4	1	2	13	1			75		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言「**イトコール**」安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報  
保健センターへの届出用紙有り